

株主の皆様へ

JR-West's Business Report

第29期 中間事業報告

平成27年4月1日 ▶ 平成27年9月30日



「花嫁のれん」
(七尾線 金沢～和倉温泉駅間 運転)



「ベル・モンターニュ・エ・メール(愛称: べるもんた)」
(城端線・氷見線 新高岡・高岡～氷見駅間
城端線 高岡～城端駅間 運転)

西日本旅客鉄道株式会社

株主の皆様へ

平素は、当社の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、平成17年4月25日に福知山線列車事故を惹き起こした責任と重大性を重く受け止め、安全で安心・信頼していただける鉄道を築き上げることに、グループを挙げて役員・社員が一丸となって取り組んでおります。今後も事故に真摯に向き合い、安全な鉄道を築き上げるべく、私をはじめ社員一人ひとりが日々の業務の中で一層の努力を積み重ねてまいります。

当社は平成25年3月に、「JR西日本グループ中期経営計画2017」とその中核をなす「安全考動計画2017」を策定し、「被害に遭われた方々に誠心誠意と受け止めていただけるような取り組み」「安全性向上に向けた取り組み」「変革の推進」の「経営の3本柱」を引き続き経営の最重要課題と位置づけたうえで、経営ビジョンを具体化するため、当社グループの今後の方向性として「めざす未来～ありたい姿～」を新たに掲げました。

その中で当社グループの「ありたい姿」については、①鉄道を社会基盤として持続的に運営するという「私たちの使命」を果たし、安全で豊かな社会づくりに貢献すること、そして、②地域とともに歩む「地域共生企業」として地域の活性化に貢献することとしており、これらの実現に向け、「安全」「CS」「技術」の「3つの基本戦略」と「新幹線」「近畿エリア」「西日本各エリア」「事業創造」の「4つの事業戦略」を重点戦略として、グループ一体となって推進しております。

本年4月には、この2年間の振り返りと経営環境の変化を踏まえ「JR西日本グループ中期経営計画2017 進捗状況と今後の重点取り組み(アップデート)」を策定し、目標の達成に向けた取り組みの修正・追加を行っております。

3月に長野・金沢駅間が開業した北陸新幹線や、4月に開業した「LUCUA osaka」はご好評をいただいておりますが、これら施策の効果を活かした取り組みを進め、また、観光のため来日される外国のお客様が増加している足元の状況を踏まえたサービスの充実等にも取り組んでおります。

人口減少や激甚化する自然災害の増加、対抗輸送機関との競合などが今後とも予想されますが、中期経営計画の各々の施策を当社グループ一体となって進め、新たな時代に向けた次の一步を踏み出し、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、ご理解と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月

代表取締役社長 真鍋 精志



事業の経過及び成果

①全般の状況

営業収益	7,094 億円	前年同期	6,515億円 (8.9%増)
経常利益	997 億円	前年同期	724億円 (37.6%増)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	660 億円	前年同期	544億円 (21.3%増)

当社は、平成17年4月25日、福知山線塚口・尼崎間において、106名のお客様の尊い命を奪い、500名を超えるお客様を負傷させるという、極めて重大な事故を惹き起こしました。当社としては、これまでの間、「被害に遭われた方々に誠心誠意と受け止めていただけるような取り組み」「安全性向上に向けた取り組み」「変革の推進」を「経営の3本柱」と定め、全力で取り組んでまいりました。

本年4月にも「福知山線列車事故追悼慰霊式」を執り行うとともに、引き続き福知山線列車事故で被害に遭われた方々へ真摯に向き合い対応してまいりました。

当社グループは、平成25年3月に、「JR西日本グループ中期経営計画2017」とその中核をなす「安全考動計画2017」を策定し、2017年度までの5年間を「確かな経営の土台をつくりあげる期間」と位置づけ、「3つの基本戦略」と「4つの事業戦略」を重点戦略として推進しております。4月には、この2年間の振り返りと経営環境の変化を踏まえ、「JR西日本グループ中期経営計画2017」をアップデートし、目標の達成に向けた取り

組みの修正、追加を行いました。

当第2四半期連結累計期間においては、3月に長野・金沢間が開業した北陸新幹線のご利用が好調であったことや、訪日観光客、シニア世代のお客様を中心としたご利用が増加したこと、さらにシルバーウィーク期間に多くのお客様にご利用いただいたこと等による運輸収入の増加に加え、主要駅での改装工事が進み新たな商業施設が開業し、順調にご利用いただく等、流通業、不動産業といった鉄道事業以外でも増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は前年同期比8.9%増の7,094億円、営業利益は同34.5%増の1,105億円、経常利益は同37.6%増の997億円、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は同21.3%増の660億円となりました。

一方、当社を取り巻く経営環境は、人口減少や対抗輸送機関との競合、労務単価の上昇によるコストの増加など厳しい現状が続いておりますが、そうしたなか、引き続き北陸新幹線開業効果の最大化や訪日観光客・

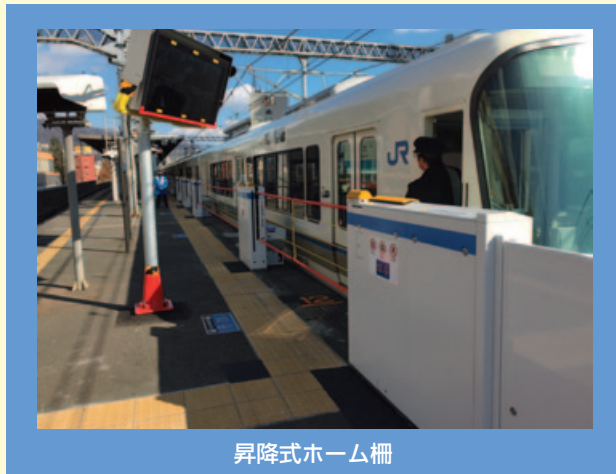
ホームの安全対策

「昇降式ホーム柵」を六甲道駅に継続設置、また高槻駅に新設いたします。

JR西日本では、お客様のホームからの転落や列車との接触を防ぐためにホーム柵の開発、整備を進めております。この「昇降式ホーム柵」はロープを上下に昇降させることで、異なる扉枚数の列車に対応できるホーム柵です。

平成26年12月からJR神戸線六甲道駅で試作運行を行っており、実用化が決定いたしました。

この結果、JR京都線高槻駅の新快速専用の新設ホームにも「昇降式ホーム柵」を整備することになりました。



昇降式ホーム柵

さまざまなホーム柵



可動式ホーム柵



通過線ホーム柵



新幹線ホーム柵

シニア需要の獲得に向けた取り組み、及び4月に開業した大阪ステーションシティ・ノースゲートビルディング西館[LUCUA 1100]開業効果の最大化を図る施策の展開を推進してまいります。また、訪日観光客需要の獲得に向けた施策の1つとして、運輸業、旅行業、ホテル業などグループ全体での取り組みを推進する「グループインバウンド推進室」を6月に設置したほか、東南アジア諸国からのご利用拡大を図るための現地拠点として、7月に「シンガポール事務所」を設置いたしました。

なお、当社グループの持続的成長と中長期的な企業価値向上に向けて、取締役会の実効性向上、ステークホルダーとの信頼関係構築や適切な情報開示等を定めた「コーポレートガバナンス・コード」について必要な開示を行っております。

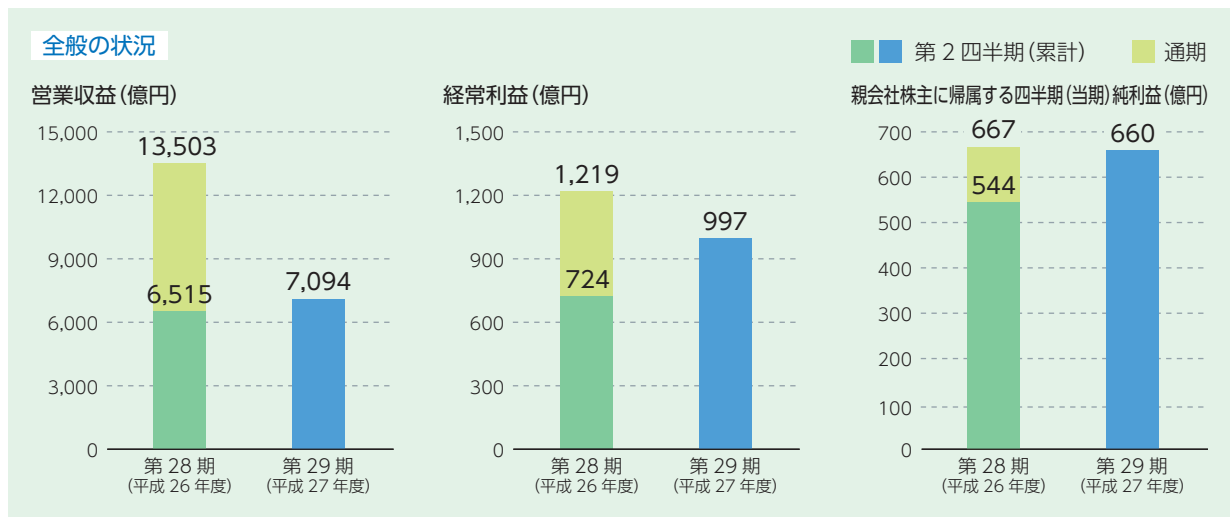
②セグメント別の状況

	営業収益	営業利益
運輸業	4,661 億円 (前年同期比 8.6%増)	842 億円 (前年同期比 33.5%増)

安全性向上については、平成25年に策定した「安全考動計画2017」のもと具体的な取り組みを実施しております。とくに、この2年間で認識した課題を踏まえた重点項目として、激甚化する自然災害への対処、ホームの安全性向上、死亡に至る鉄道労災防止、リスク管理の強化、内部監査の充実と外部視点の活用への取り組みを進めております。

激甚化する自然災害への対処としては、京阪神を中心に各線区の降雨時における防災強度向上の取り組み等を進めております。

また、地震・津波対策等としては、高架橋柱の耐震



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としており、前連結会計年度の当期純利益についても科目名を統一しております。

補強工事や山陽新幹線における逸脱防止ガードの整備、津波避難設備の充実等に引き続き取り組むとともに、東日本大震災の教訓を生かして制定した「津波避難誘導心得」及びマニュアルに基づく訓練等を実施しました。

ホームの安全性向上については、平成28年春の完成を目指し高槻駅の「昇降式ホーム柵」の設置工事を開始しました。このほか、CM放映による安全意識向上の呼びかけやポスターを掲出するなど「ホーム転落防止キャンペーン」を実施いたしました。

また、労災防止の取り組みとしては、保守作業や検査時の保安度向上を目的とした「工務関係触車事故防止準則（在来線）」の改正を行ったほか、1月に社員研修センター内に開設した「安全体感棟」を活用する等の教育を実施しております。

一方、台風11号に伴う降雨規制により列車が駅間で長時間抑止となったことから、これを踏まえ在来線降雨規制時における駅間停車解消の具体的な取扱いを定めました。

また、8月に山陽新幹線小倉・博多間において生じた車両部品の落失により、ご乗車のお客様がお怪我をされたことを踏まえ、車両品質の維持向上に向けて、ルール・役割の明確化及び厳格な運用を徹底してまいります。このほか、6月に東海道新幹線で発生した列車火災を受け、セキュリティ向上のために山陽新幹線車内の防犯カメラを増設するとともに、北陸新幹線車内の防犯カメラを常時録画に機能変更することとしました。

さらに、今年度より、安全管理体制のレベルアップ及び安全管理体制監査の充実を図るため、安全管理体

制に対する第三者評価を導入しております。

営業面については、北陸新幹線開業効果の最大化や山陽新幹線のご利用促進、訪日観光客・シニア需要の獲得、京阪神エリアにおける線区価値向上と西日本エリアの観光活性化等に向けて取り組んでおります。

北陸新幹線については、金沢開業にあわせた「e5489」等ネット商品の充実、金沢駅・富山駅を起点とした観光周遊バスの運行、北陸と信越を広域に周遊できる旅行商品の発売などにより、週末を中心に好調なご利用をいただいております。さらに、関西と北陸エリアの相互流動の拡大に向けての取り組みも推進してまいります。北陸新幹線では引き続き、金沢・敦賀間が平成34年度末の開業を目指して整備が進められており、当社としても準備に取り組んでまいります。

また、山陽新幹線においては、「山陽新幹線全線開業40周年キャンペーン」にあわせた関西の魅力を発信するCMの放映、「リメンバー九州キャンペーン」の展開及び「こだまWEB早特14」の発売を行うなどの施策を展開し、ご利用が順調に増加しております。

さらに、訪日観光客向けに、関西から博多への観光周遊ルート商品「西遊紀行瀬戸内エリアパス」を発売するなど、訪日観光客専用の商品等を展開することにより、ご利用の拡大を図りました。

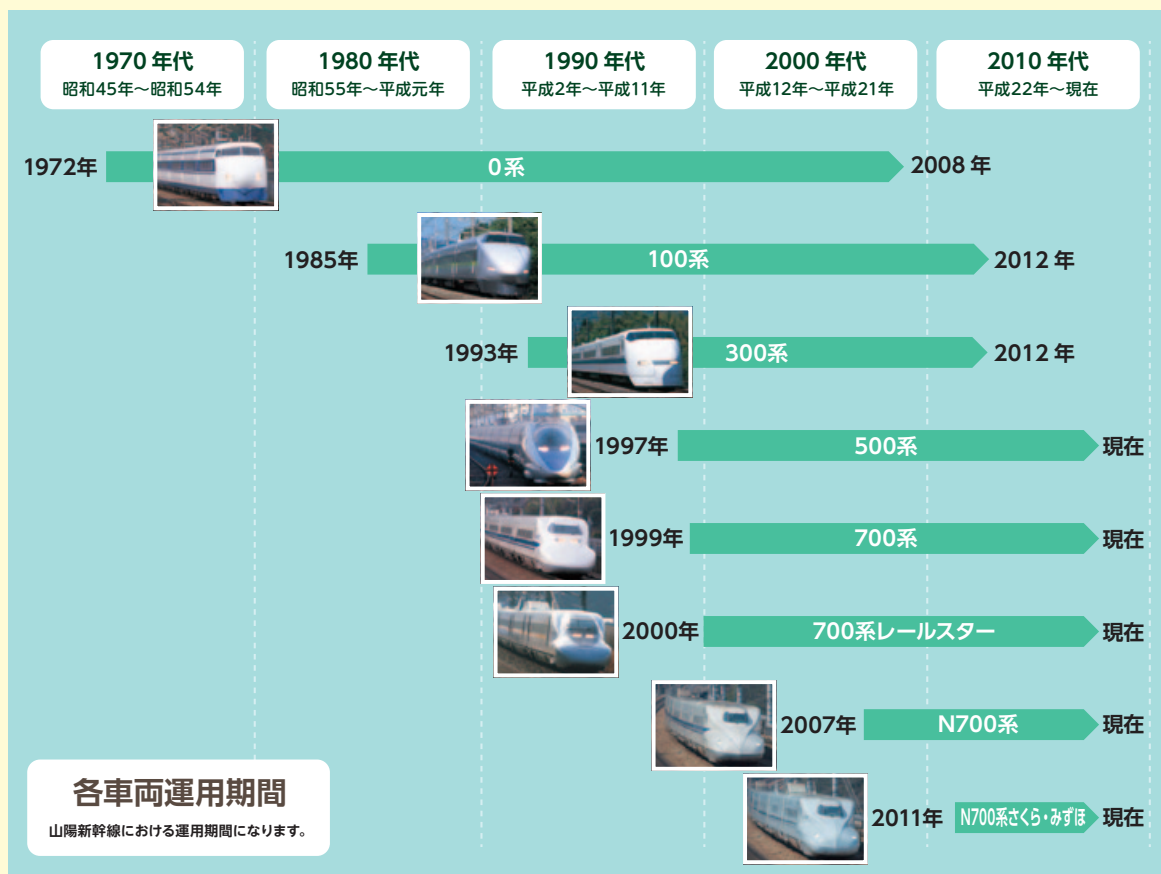
また、シニア世代には、50歳以上のお客様にお得な割引きっぷや旅行商品をご提案する「おとなび」会員限定の乗り放題きっぷ「おとなびパス」や「おとなびWEB早特」を発売するなど需要喚起の取り組みを推進し、ご好評をいただいております。

このほか、京都梅小路エリアにおいては、8月に「梅小路蒸気機関車館」を閉館し、平成28年春の「京都鉄

おかげさまで山陽新幹線全線開業 40周年を迎えました。



平成27年3月10日、山陽新幹線は新大阪～博多間全線開業40周年を迎えました。その感謝の気持ちを込めて、JR西日本では沿線各都市での楽しいイベント開催や記念キャンペーン、記念切符や記念グッズの販売など、さまざまな企画を実施しております。初代の0系から100系、300系、500系、700系、N700系、そして次代へ…。今後も山陽新幹線は、車両もサービスも、未来に向けてますます進化してまいります。

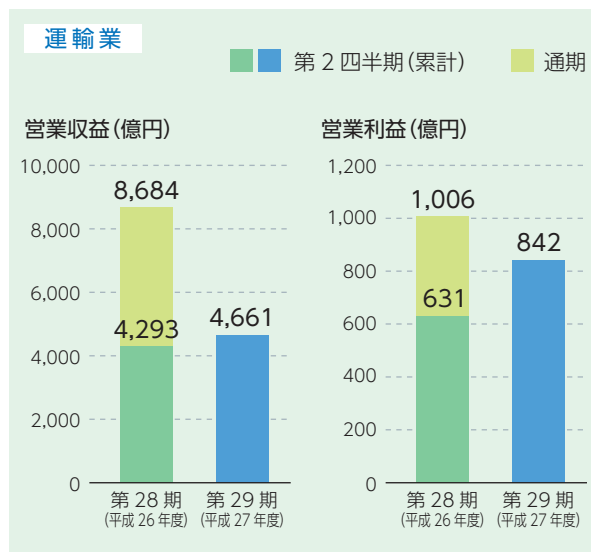


道博物館」開業に向けて準備を進めております。

また、平成29年春「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の運行開始に向けて、専任機関「瑞風推進事業部」を設置し、運行ルートや車両デザイン等を発表したほか、「特別なトワイライトエクスプレス」を団体臨時列車として山陽・山陰の2つのコースにおいて運転しました。

バス事業、船舶事業(宮島航路)については、安全輸送を基本とし、お客様のご利用に応じた輸送改善等の実施により、利便性向上に努めました。

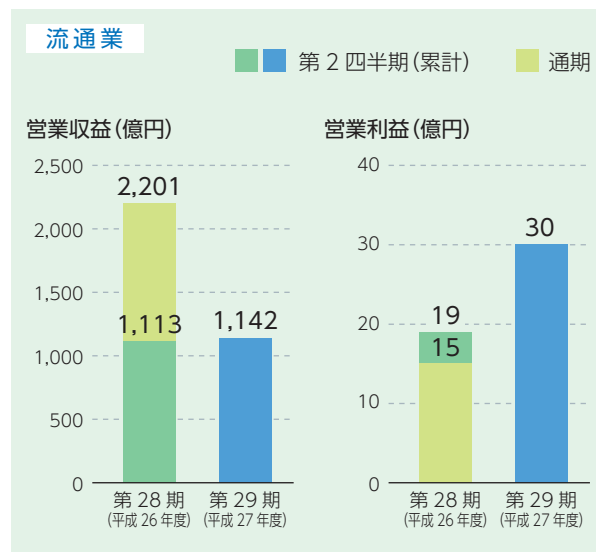
この結果、上記各施策の取り組みによって、運輸業の営業収益は前年同期比8.6%増の4,661億円、営業利益は同33.5%増の842億円となりました。



大阪ステーションシティ・ノースゲートビルディング西館に売場づくりの強みを再編集した店舗「isetan」を出店したほか、各拠点駅での改装工事、セブン-イレブン・ジャパンとの提携店舗開業を進めております。

3月には新大阪駅改札内に「エキマルシェ新大阪」を開業し、順調なご利用をいただいております。

また、セブン-イレブン・ジャパンとの提携店舗については、7月におみやげとセブン-イレブンが一体となった初の大型店舗「アントレマルシェ天王寺」を開業するなど、今年度新たに40店舗を開業して110店舗となり、売上げも順調に推移しております。

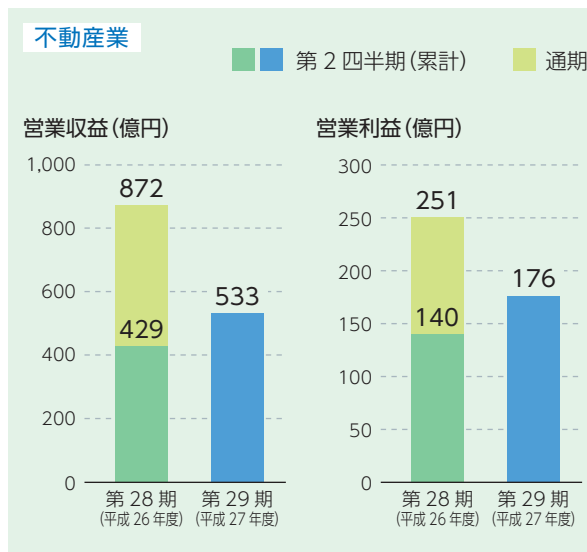


流通業においては、各拠点駅において改装工事を進めていた店舗も計画通り開業し、また鉄道のご利用増に伴うお客様の増加もあり、流通業の営業収益は前年同期比2.7%増の1,142億円、営業利益は同59.4%増の30億円となりました。

不動産業	営業収益	営業利益
	533 億円 (前年同期比 24.3%増)	176 億円 (前年同期比 26.0%増)

4月に開業した大阪ステーションシティ・ノースゲートビルディング西館「LUCUA 1100」開業効果の最大化に向けた取り組み、将来の成長に向けた各拠点駅の商業施設等のリニューアル工事を順次進めております。

大阪ステーションシティ・ノースゲートビルディ



当社エリアの改札内としては最大規模となる商業施設「エキマルシェ新大阪」が誕生！

エキマルシェ新大阪は、新大阪駅在来線改札内を増床して誕生した商業施設です。平成27年3月のI期開業では、「関西ゆかりの老舗店舗や企業アンテナショップなど、「関西ならではの」を楽しんでいただけるバラエティ豊かな店舗で構成し、多くのお客様にご利用いただいております。

12月21日のグランドオープン後は、土産・飲食・駅弁・書籍・スイーツ・フードなど、お客様の様々なニーズにお応えする全36店舗となり、新大阪駅をご利用される方にとってこれまで以上にご満足いただける商業施設にまいります。



ング西館については、集客力・話題性の高い専門店と「isetan」を融合させた商業施設「LUCUA 1100」のグランドオープン以来、売上げ・来館者ともに堅調に推移しております。

また、商業施設等のリニューアルについては、4月に倉敷駅ビル「サンステーションテラス倉敷」を開業、5月に広島駅に「広島新幹線名店街」を増床リニューアルしたほか、7月には甲子園口駅ビル「ビエラ甲子園口」を開業しました。また、7月には新大阪駅2階商業施設を「アルデ新大阪」としてリニューアルいたしました。

なお、JR大阪駅等においてショッピングセンターを運営している連結子会社2社について、より利便性の高い、魅力ある商業施設の開発・運営を目指し、4月に合併いたしました。

この結果、不動産業の営業収益は前年同期比24.3%増の533億円、営業利益は同26.0%増の176億円となりました。

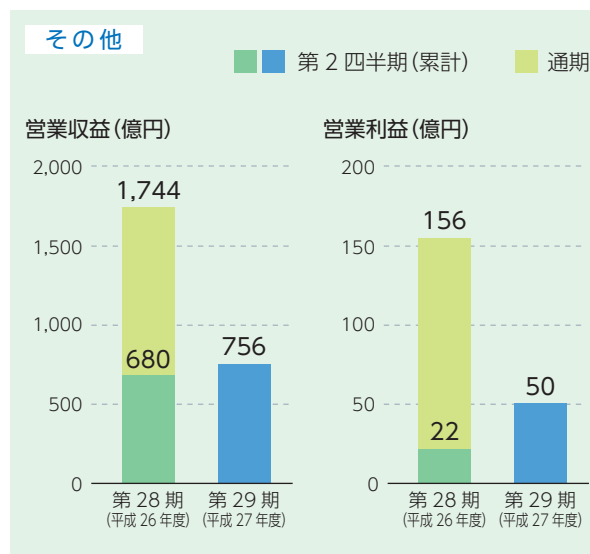
その他	営業収益	営業利益
	756億円 (前年同期比 11.2%増)	50億円 (前年同期比 122.1%増)

ホテル業については、訪日観光客の獲得に向けて販売拡大等に努めました。また、旅行業については、訪日観光客需要の獲得に向けた営業展開の強化、インターネット販売の充実等を図るとともに、鉄道利用商品の販売拡大に取り組みました。

「ICOCA電子マネー」については、加盟店の拡大による利便性向上に努めました。

さらに、工事業については、建設工事等における安全・品質の向上を図り、受注の拡大につながりました。

この結果、その他の営業収益は前年同期比11.2%増の756億円、営業利益は同122.1%増の50億円となりました。



四半期連結貸借対照表(要旨)

(平成27年9月30日現在)

(単位 百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間
(資産の部)	
流動資産	353,533
固定資産	2,426,108
有形固定資産	2,176,918
無形固定資産	27,909
投資その他の資産	221,280
繰延資産	23
資産合計	2,779,664
(負債の部)	
流動負債	464,057
支払手形及び買掛金	48,073
短期借入金	16,192
1年内返済予定の長期借入金	46,739
鉄道施設購入未払金	33,269
1年内支払予定の長期未払金	31
未払金	49,144
未払消費税等	11,736
未払法人税等	29,002
前受運賃	44,571
前受金	31,710
賞与引当金	36,270
ポイント引当金	2,077
その他	115,237
固定負債	1,413,692
社債	494,978
長期借入金	322,569
鉄道施設購入長期未払金	123,022
長期未払金	49
繰延税金負債	4,055
環境安全対策引当金	8,489
未引換商品券等引当金	2,360
退職給付に係る負債	359,257
その他	98,909
負債合計	1,877,750
(純資産の部)	
株主資本	851,471
その他の包括利益累計額	3,873
非支配株主持分	46,569
純資産合計	901,914
負債・純資産合計	2,779,664

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結会計期間より、「少数株主持分」を「非支配株主持分」としております。

四半期連結損益計算書(要旨)

(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

(単位 百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間
営業収益	709,415
営業費	598,875
運輸業等営業費及び売上原価	510,151
販売費及び一般管理費	88,724
営業利益	110,539
営業外収益	2,348
受取利息	46
受取配当金	284
受託工事事務費戻入	98
持分法による投資利益	867
その他	1,051
営業外費用	13,175
支払利息	12,302
その他	872
経常利益	99,713
特別利益	6,663
工事負担金等受入額	3,548
受取保険金	2,000
その他	1,115
特別損失	6,160
工事負担金等圧縮額	3,420
その他	2,739
税金等調整前四半期純利益	100,216
法人税、住民税及び事業税	26,961
法人税等調整額	5,830
四半期純利益	67,424
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,383
親会社株主に帰属する四半期純利益	66,041

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「少数株主損益調整前四半期純利益」を「四半期純利益」に、「少数株主利益」を「非支配株主に帰属する四半期純利益」に、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

会社役員に関する事項 (平成27年9月30日現在)

取締役及び監査役の氏名等

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
取締役会長 (取締役会議長)	佐々木隆之	
取締役	石川 正	弁護士法人大江橋法律事務所 特別顧問
取締役	佐藤友美子	追手門学院大学地域創造学部 教授、学校法人追手門学院成熟社会研究所長 日本放送協会経営委員会 委員
取締役	村山 裕三	同志社大学 副学長 同志社大学大学院ビジネス研究科 教授
取締役	齊藤 紀彦	株式会社きんでん 代表取締役会長
取締役	宮原 秀夫	大阪大学大学院情報科学研究科 特任教授、一般財団法人アジア太平洋研究所 理事・所長 一般社団法人ナレッジキャピタル 代表理事、大阪瓦斯株式会社 社外取締役
代表取締役社長 兼 執行役員	真鍋 精志	福知山線列車事故ご被害者対応に関すること
代表取締役副社長 兼 執行役員	山本 章義	社長補佐全般、安全性向上に関すること 鉄道本部、安全研究所、構造技術室、建設工事部担当
代表取締役副社長 兼 執行役員	矢吹 静	社長補佐全般、創造本部担当
代表取締役副社長 兼 執行役員	来島 達夫	社長補佐全般、変革の推進に関すること 福知山線列車事故ご被害者対応本部、総合企画本部、秘書室、広報部、人事部、東京本部担当
取締役 兼 常務執行役員	堀坂 明弘	IT本部、鉄道本部営業本部担当
取締役 兼 常務執行役員	長谷川一明	近畿統括本部担当
取締役 兼 常務執行役員	吉江 則彦	鉄道技術の革新に関すること 鉄道本部技術開発部、鉄道本部新幹線統括部担当
取締役 兼 常務執行役員	二階堂暢俊	福知山線列車事故対策審議室、監査部、企業倫理・リスク統括部、総務部、財務部担当
常勤監査役	菊池 保孝	
常勤監査役	千代 幹也	
監査役	勝木 保美	勝木公認会計士事務所 公認会計士 住友精化株式会社 社外取締役、サカタインクス株式会社 社外監査役
監査役	筒井 義信	日本生命保険相互会社 代表取締役社長 株式会社帝国ホテル 社外取締役、パナソニック株式会社 社外取締役

(注) 1. 取締役石川正、佐藤友美子、村山裕三、齊藤紀彦及び宮原秀夫の5氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 常勤監査役千代幹也、監査役勝木保美及び筒井義信の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

「企業理念」・「安全憲章」

安全を最優先する企業風土の構築に向けて、当社の目指すべき姿、全社員が共有すべき価値観等を示した「企業理念」を制定し、平成18年4月1日から施行しております。あわせて、最大の使命である安全の確保に向けて、社員一人ひとりが具体的に行動を起こせるよう、安全に関する具体的な行動指針として「安全憲章」についても大幅な見直しを行いました。今後も引き続き、この「企業理念」「安全憲章」の具現化を図り、安全性向上、信頼回復に全力で取り組んでまいります。

JR西日本 企業理念

1. 私たちは、お客様のかげがえのない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全第一を積み重ね、お客様から安心、信頼していただける鉄道を築き上げます。
2. 私たちは、鉄道事業を核に、お客様の暮らしをサポートし、将来にわたり持続的な発展を図ることにより、お客様、株主、社員とその家族の期待に応えます。
3. 私たちは、お客様との出会いを大切にし、お客様の視点で考え、お客様に満足いただける快適なサービスを提供します。
4. 私たちは、グループ会社とともに、日々の研鑽により技術・技能を高め、常に品質の向上を図ります。
5. 私たちは、相互に理解を深めるとともに、一人ひとりを尊重し、働きがいと誇りの持てる企業づくりを進めます。
6. 私たちは、法令の精神に則り、誠実かつ公正に行動するとともに、企業倫理の向上に努めることにより、地域、社会から信頼される企業となることを目指します。

安全憲章

私たちは、2005年4月25日に発生させた列車事故を決して忘れず、お客様のかげがえのない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全の確保こそ最大の使命であるとの決意のもと、安全憲章を定めます。

1. 安全の確保は、規程の理解と遵守、執務の厳正および技術・技能の向上にはじまり、不断の努力によって築きあげられる。
2. 安全の確保に最も大切な行動は、基本動作の実行、確認の励行および連絡の徹底である。
3. 安全の確保のためには、組織や職責をこえて一致協力しなければならない。
4. 判断に迷ったときは、最も安全と認められる行動をとらなければならない。
5. 事故が発生した場合には、併発事故の阻止とお客様の救護がすべてに優先する。

JR西日本グループ中期経営計画2017 (平成25年3月策定)

中期経営計画のあらまし

経営ビジョンを具体化するため、JR西日本グループの「めざす未来～ありたい姿～」を新たに掲げました。「3つの基本戦略」と「4つの事業戦略」からなる「重点戦略」を実行するとともに、「基盤づくり」を進め、「社会の一員としての責任」を果たし、これからの時代の「新しいJR西日本グループ」の実現に向けて、「次の一歩」を踏み出します。

なお、平成27年4月30日に、2年間の振り返り・評価・課題を踏まえた「JR西日本グループ中期経営計画2017 進捗状況と今後の重点取り組み(アップデート)」を公表しております。

2013-2017

重点戦略

3つの基本戦略

安全 安全考動計画2017
 CS 顧客起点の経営
 技術 絶え間ない革新



4つの事業戦略

新幹線 「高める」 西日本各エリア 「活かす」
 近畿エリア 「磨く」 事業創造 「伸ばす」

基盤づくり

- 技術力の向上
- コミュニケーションの改善
- ヒューマンファクターの理解と活用
- 現場力の向上
- 人材の確保・育成と働きがい
- グループの一体化
- お客様、社会との連携

社会の一員としての責任

- コンプライアンス
- ディスクロージャー
- 危機管理
- 地球環境

これからの時代の 「新しいJR西日本グループの姿」

経営ビジョン

事業活動を通じて西日本地域の活性化に貢献するために、安全マネジメントにおいて卓越し、お客様、地域、社会から信頼される企業グループをめざします。

めざす未来～ありたい姿～

「私たちの使命」を果たします。

「安全」「CS」とそれを支える「技術」にこだわり、鉄道を社会基盤として持続的に運営する使命を果たすとともに、安全で豊かな社会づくりに貢献します。



「地域共生企業」となります。

地域の皆様との交流と連携を深め、JR西日本グループ一体でエリアに即した事業を展開することにより、鉄道の品質を高めるとともに非鉄道事業拡大と新たな事業創造を促進して、地域の活性化に貢献します。

現在

未来

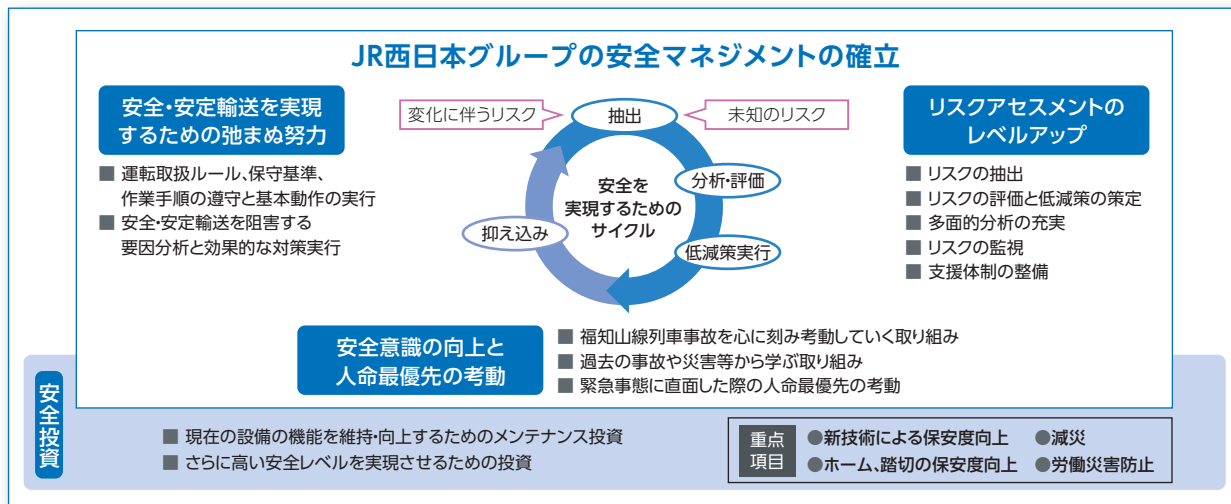
安全考動計画2017 (平成25年3月策定)

「福知山線列車事故のような事故を二度と発生させない。」これは、JR西日本グループの責務であり、変わらぬ決意です。

この決意のもと、JR西日本グループの鉄道サービスをご利用いただくお客様を安全に目的地までご案内するとともに、その業務に携わる誰もが大切我や死亡に至ることがないように、安全のレベルを着実に向上させるために取り組むべき行動を具体化したものが「安全考動計画」です。

この計画では、具体的な数値目標を掲げ、安全性向上に向けて継続して取り組んでいくこととしています。「お客様が死傷する列車事故ゼロ」「死亡に至る鉄道労災ゼロ」を5年間を通じた目標に、「ホームにおける鉄道人身障害事故3割減」「踏切障害事故4割減」「部内原因による輸送障害5割減」を5年後の目標とし、この実現に向けて「安全・安定輸送を実現するための弛まぬ努力」「リスクアセスメントのレベルアップ」「安全意識の向上と人命最優先の考動」「安全投資」の4つの柱に重点的に取り組んでまいります。

安全考動計画2017



中期経営計画・安全考動計画 基盤づくりの取り組み

- 技術力の向上
- コミュニケーションの改善
- ヒューマンファクターの理解と活用
- 現場力の向上
- 人材の確保・育成と働きがい
- グループの一体化
- お客様、社会との連携

2017年度までの5年間を通じた目標 **お客様が死傷する列車事故 ゼロ** **死亡に至る鉄道労災 ゼロ**

2017年度の到達目標 **ホームにおける鉄道人身障害事故 3割減** **踏切障害事故 4割減** **部内原因による輸送障害 5割減**

JR西日本グループの概要 (平成27年9月30日現在)

当社グループは、当社、子会社145社及び関連会社17社で構成され、その営んでいる主要な事業及び企業集団の概要図は、次のとおりであります。

お客様 及び 取引先

西日本旅客鉄道(株)

運輸業

〈鉄道事業〉

- ・嵯峨野観光鉄道(株)
- ・関西高速鉄道(株)※
- ・大阪外環状鉄道(株)※

〈旅客自動車運送事業〉

- ・中国ジェイアールバス(株)
- ・西日本ジェイアールバス(株)

〈船舶事業〉

- ・JR西日本宮島フェリー(株)



流通業

〈百貨店業〉

- ・(株)ジェイアール西日本伊勢丹

〈物販・飲食業〉

- ・(株)ジェイアール西日本デイリーサービスネット
- ・(株)ジェイアール西日本フードサービスネット
- ・(株)ジェイアールサービスネット広島
- ・(株)ジェイアールサービスネット岡山

- ・(株)ジェイアールサービスネット金沢
- ・(株)ジェイアールサービスネット福岡

〈各種物品等卸売業〉

- ・ジェイアール西日本商事(株)

〈その他流通業〉

- ・JR西日本山陰開発(株)



不動産業

〈不動産販売・賃貸業〉

- ・京都駅ビル開発(株)
- ・大阪ターミナルビル(株)
- ・JR西日本不動産開発(株)

〈ショッピングセンター運営業〉

- ・天王寺SC開発(株)
- ・JR西日本SC開発(株)
- ・京都ステーションセンター(株)
- ・富山ターミナルビル(株)

- ・山陽SC開発(株)
- ・金沢ターミナル開発(株)
- ・神戸SC開発(株)
- ・中国SC開発(株)

- ・(株)和歌山ステーションビルディング
- ・(株)新大阪ステーションストア

- ・JR西日本大阪開発(株)
- ・(株)京都駅観光デパート



その他

〈ホテル業〉

- ・(株)ジェイアール西日本ホテル開発
- ・(株)ホテルグランヴィア広島
- ・(株)ホテルグランヴィア大阪
- ・(株)ホテルグランヴィア岡山
- ・和歌山ターミナルビル(株)
- ・三宮ターミナルビル(株)

〈旅行業〉

- ・(株)日本旅行

〈貸自動車業〉

- ・JR西日本レンタカー&リース(株)

〈広告業〉

- ・(株)JR西日本コミュニケーションズ

〈車両等設備工事業〉

- ・(株)ジェイアール西日本テクノス
- ・(株)ジェイアール西日本新幹線テクノス

〈機械等設備工事業〉

- ・(株)JR西日本テクシア

〈電気工事業〉

- ・西日本電気テック(株)
- ・西日本電気システム(株)

〈土木・建築等コンサルタント業〉

- ・ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)
- ・アジア航測(株)※

〈建設事業〉

- ・大鉄工業(株)
- ・(株)レールテック
- ・(株)ジェイアール西日本ビルト
- ・広成建設(株)※

〈清掃整備事業〉

- ・(株)ジェイアール西日本メンテック
- ・(株)ジェイアール西日本広島メンテック
- ・(株)ジェイアール西日本金沢メンテック
- ・(株)ジェイアール西日本福岡メンテック
- ・(株)ジェイアール西日本岡山メンテック
- ・(株)ジェイアール西日本福知山メンテック
- ・(株)ジェイアール西日本米子メンテック

〈情報サービス業〉

- ・(株)JR西日本ITソリューションズ
- ・鉄道情報システム(株)※

〈その他〉

- ・(株)ジェイアール西日本リネン
- ・(株)ジェイアール西日本総合ビルサービス
- ・(株)ジェイアール西日本マルニックス
- ・JR西日本フィナンシャルマネジメント(株)
- ・(株)JR西日本カスタマーリレーションズ
- ・(株)ジェイアール西日本交通サービス
- ・(株)ジェイアール西日本ウェルネット



(注) ※は、持分法適用関連会社を示しております。

株主様アンケート集計結果のご報告

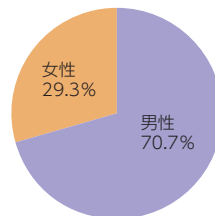
平成27年6月～7月に実施いたしました株主様アンケートにつきまして、多くの株主様にご協力をいただき、心より御礼申し上げます。主な集計結果を以下のとおりご報告申し上げます。

《実施概要》

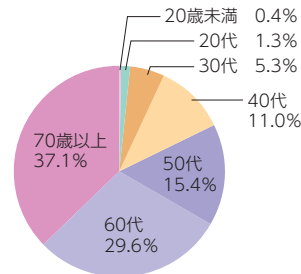
実施期間：平成27年6月23日～7月21日(必着)
 対象：平成27年3月末時点で100株以上保有の株主様
 回答数：7,125名

株主様について

●性別

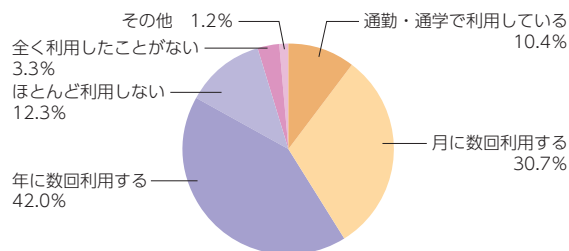


●年齢

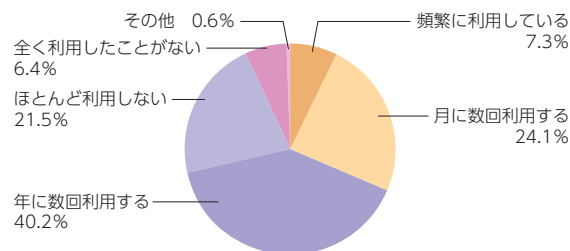


当社のご利用状況について

Q 当社の鉄道をどれくらいご利用になりますか？

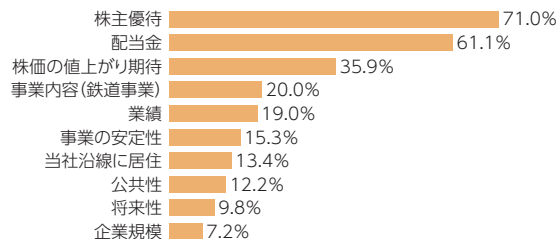


Q 当社関連の商業施設(駅ビル、物販・飲食店舗等)をどれくらいご利用になりますか？

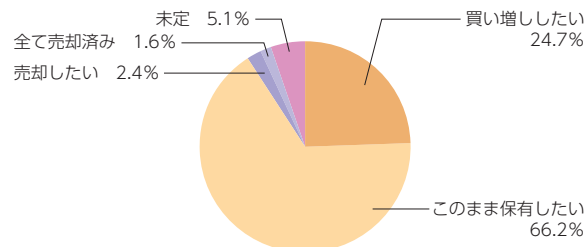


当社株式について

Q 当社株式を取得・保有されている理由は何ですか？(複数回答可)《上位10位まで》

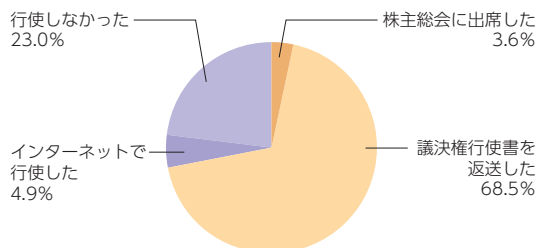


Q 当社株式について、今後どのような方針をお持ちですか？



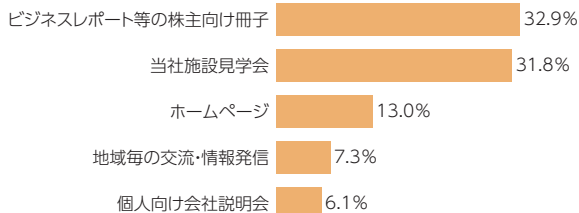
株主総会について

Q 当社の今年の株主総会について、議決権を行使されましたか？



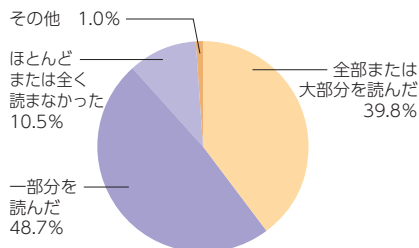
株主の皆様への取り組みについて

Q 今後、株主様への取り組みとして望まれることは何ですか？(複数回答可)《上位5位まで》

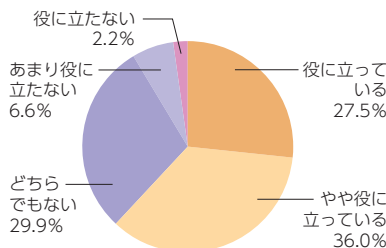


ビジネスレポート等の株主様向け冊子について

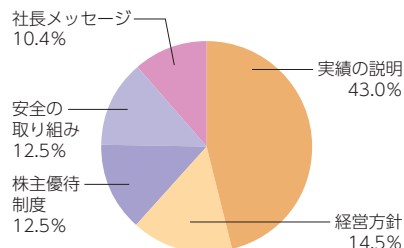
Q 「第28期定時株主総会招集通知添付書類」をご覧になっていますか？



Q 議決権行使の資料として役に立っていますか？

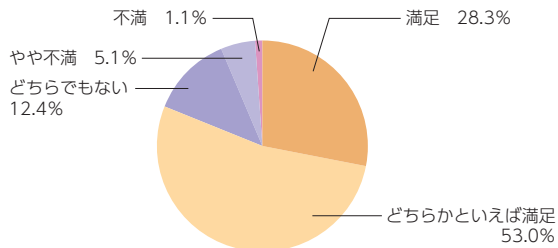


Q 株主向け冊子を通じてお知りになりたい情報は何ですか？



当社について

Q 株主様としての当社の評価をお聞かせください。



【当社の経営に望まれること】の自由記述欄では、「より一層安全性を追求し、社会の期待に応えられる企業であり続けてほしい」など「安全」に関するものが最も多く、「健全な経営で西日本地域の発展に寄与してほしい」などの「地域共生」に関するお声も多数寄せられました。

このほか、今年金沢まで開業した「北陸新幹線」や「株主優待」、「株主施策」などに関し、様々なお声が寄せられました。

ご回答いただきました結果については、株主様に向けた今後の取り組みの参考とさせていただきます。

株主優待制度

毎年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主の皆様に対し、毎年5月下旬に以下のような「株主優待割引券」(以下「優待券」という。)をご送付いたします。

鉄道優待割引

送付枚数

保有株式数	鉄道優待券(通常発行)	鉄道優待券(追加発行) 1単位(100株)でも3年以上継続保有
100株 ~ 299株	100株ごとに1枚	追加はございません
300株 ~ 499株	100株ごとに1枚	1枚追加
500株 ~ 999株	100株ごとに1枚	2枚追加
1,000株 ~ 1,099株	100株ごとに1枚	3枚追加
1,100株 ~ 10,099株	10枚+1,000株超過分 200株ごとに1枚	3枚追加
10,100株 ~ 19,999株	55枚+10,000株超過分 300株ごとに1枚	3枚追加
20,000株 ~	100枚	3枚追加

割引率

- 優待券1枚のご使用で50%割引
※2枚以上の同時使用はできません。

割引対象のきっぷ

- 運賃……片道乗車券
- 料金……特急券、急行券、グリーン券及び指定席券
- 1枚の優待券で運賃と料金ともに割引となります。
※寝台を利用する場合は、運賃・料金とも割引の対象といたしません。
※グランクラスを利用する場合は、運賃のみを割引の対象とし料金は割引の対象といたしません。

割引対象の区間

- 当社の営業路線内とします。

取扱箇所

- 当社の駅とします。
※当社係員がいない駅など、一部お取扱いできない駅があります。

JR西日本ホテルズ優待割引

送付枚数

保有株式数	宿泊優待券	レストラン優待券
100株 ~ 1,099株	100株ごとに1枚	100株ごとに2枚
1,100株 ~ 10,099株	15枚	30枚
10,100株 ~ 19,999株	20枚	40枚
20,000株 ~	25枚	50枚

割引率

- 宿泊優待……1泊1室の基本室料を30%割引
- レストラン優待……5名様までのご飲食料金を10%割引
※一部ご利用いただけないレストランがあります。

対象となるホテル

- ホテルグランヴィア京都、ホテルグランヴィア大阪、ホテルグランヴィア和歌山、ホテルグランヴィア岡山、ホテルグランヴィア広島、奈良ホテル、三宮ターミナルホテル、ホテル「ホップイン」アミダ

ヴィアイン優待割引

送付枚数

保有株式数	宿泊優待券
100株 ~ 1,099株	100株ごとに1枚
1,100株 ~ 10,099株	15枚
10,100株 ~ 19,999株	20枚
20,000株 ~	25枚

割引率

- 1泊1室の基本室料を30%または20%割引
- 対象となるホテル
- 30%割引…ヴィアイン東京大井町、ヴィアイン秋葉原、ヴィアイン新宿、ヴィアイン東銀座、ヴィアイン浅草、ヴィアイン金沢、ヴィアイン名古屋新幹線口、ヴィアイン京都四条室町、ヴィアイン心斎橋、ヴィアイン心斎橋長堀通、ヴィアイン岡山、ヴィアイン広島、ヴィアイン広島銀山町
- 20%割引…ヴィアイン新大阪、ヴィアイン新大阪ウエスト、ヴィアイン姫路、ヴィアイン下関

ジェイアール西日本伊勢丹優待割引

送付枚数

保有株式数	お買物	レストラン・喫茶、美容室	写真室、貸衣装	駐車場
100株 ~ 499株	100株ごとに3枚	3枚	1枚	6枚
500株 ~ 1,099株	100株ごとに3枚	6枚	2枚	12枚
1,100株 ~ 10,099株	45枚	6枚	2枚	12枚
10,100株 ~ 19,999株	60枚	6枚	2枚	12枚
20,000株 ~	75枚	6枚	2枚	12枚

割引率

- お買物、レストラン・喫茶、美容室、写真室、貸衣装の各優待…10%割引
- 駐車場優待…お買物による無料駐車サービス(通常2時間)を1時間延長
- 対象となる店舗
- ジェイアール京都伊勢丹
- ルグア大阪内 イセタン各ショップ(お買物、レストラン・喫茶の各優待のみご利用いただけます)
※その他店舗及び「スパコ・ジェイアール京都伊勢丹」ではご利用できません。

日本旅行優待割引

送付枚数 一律1枚

割引率(1枚で2名様までご利用可能)

- 国内旅行商品「赤い風船」5%割引
- 海外旅行商品「マッハ」5%割引、「ベストエクセレント」3%割引、「ベスト」3%割引
- 対象となる店舗
- 日本旅行の直営店舗(一部店舗を除く)

JR 西日本営業エリアマップ (平成27年9月30日現在)

京阪神エリア



- 新幹線
- 在来線
- - - 他JR線(新幹線)
- 他JR線(在来線)
- 会社境界駅(当社の駅)
- 会社境界駅(JR他社の駅)

株式に関する事項 (平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数 800,000,000株

発行済株式の総数 193,735,000株

(注)発行済株式の総数には、自己株式673株を含んでおります。

株主数 142,543名

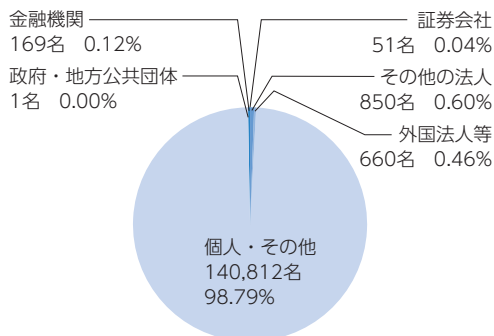
上位10名の株主

株主名	持株数(持株比率)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,323,100株 (4.30%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,909,300 (4.08)
株式会社三井住友銀行	6,400,000 (3.30)
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,300,000 (3.25)
株式会社みずほ銀行	4,600,000 (2.37)
日本生命保険相互会社	4,000,000 (2.06)
JR西日本社員持株会	3,883,700 (2.00)
三井住友信託銀行株式会社	3,200,100 (1.65)
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	3,142,558 (1.62)
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	2,502,521 (1.29)

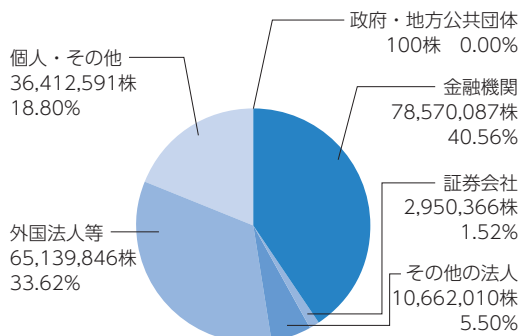
(注)持株比率の算定にあたっては、発行済株式の総数から自己株式673株を除いております。

所有者別分布状況

株主数



所有株式数



(注)「個人・その他」には、自己株式673株を含んでおります。

当社施設見学会のご案内

京都鉄道博物館(京都市下京区)

株主の皆様へ当社の事業内容へのご理解を一層深めていただけるよう、次のおり施設見学会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。



開催日時

開催日	予定時間	集合・解散場所
平成28年4月9日(土)	10:00~15:00	京都鉄道博物館

※開催日等は、都合により変更する場合があります。

募集人数 同伴者様を含め2,100名様
※株主1名様につき、同伴者2名様まで可。なお、同伴者は株主の方でなくても結構です。

対象者 平成27年9月30日現在、当社株式を100株以上ご所有の株主様

参加費 無料
※ただし、現地までの往復交通費及び宿泊費等は参加者様のご負担でお願いいたします。
※駐車場はご用意しておりませんので、お車での来場はご遠慮下さい。

応募方法 同封の参加申込はがきに必要な事項をご記入の上、お申込み下さい。
なお、応募多数の場合は、ご所有株式数100株(1単元)につき1口のお申込みとして、抽選させていただきます。
※参加申込はがきには、**同伴者の人数**について選択いただき、ご連絡先となる**電話番号**を必ずご記入下さい。
(お名前・ご住所のご記入は不要です。)

応募締切 平成28年1月29日(金)必着

抽選結果及び詳細のご連絡 抽選結果のご連絡及び参加いただく株主様への詳しいご案内は、平成27年9月30日現在の株主名簿に記載されたご住所宛に、平成28年3月上旬頃にご送付する予定です。


その他

- 一部工事のため、ご覧いただけず申し訳ございません。あらかじめご了承ください。
- ご応募に際していただいた個人情報、施設見学会の実施及び今後の株主様向け活動のためにのみ使用し、他の目的には使用いたしません。
- 諸般の事情により内容が変更または中止となる場合があります。その場合は当選された株主様にご連絡を差しあげます。
- 当選した権利を他人(ご家族、他の株主様を含む)に譲渡することはできませんのでご了承下さい(ネットオークションへの出品を含め、転売目的のご応募は固くお断りいたします)。

お問合せ

西日本旅客鉄道株式会社
総務部(株主センター)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
(インターネット) (ホームページURL)	http://www.westjr.co.jp/company/ir/koukoku/
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	 0120-782-031
(インターネット) (ホームページURL)	http://www.smb.jp/personal/agency/

株式に関する住所変更等のご照会及び お届出について

株式に関するお手続き(届出住所、姓名等の変更、配当金の振込方法、振込先の変更、単元未満株式の買取・売渡請求等)のご照会及びお届出につきましては、証券会社での口座開設の有無に応じて、以下のいずれかの窓口にご連絡ください。
(証券会社で口座開設されている株主様)
当該証券会社にご連絡ください。
(証券会社で口座を開設されていない株主様)
三井住友信託銀行にご連絡ください。(下記もご参照ください。)

特別口座について

株券電子化の施行日(平成21年1月5日)前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様のご所有株式は、三井住友信託銀行に開設された口座(特別口座)に記録されております。特別口座の詳細につきましては、左記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問い合わせください。

マイナンバー制度のご案内について

株式の税務関係の手続き(税務署への配当金に関する支払調書の提出など)において、株主様のマイナンバーが必要となりますので、口座のある証券会社にお届出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、左記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問い合わせください。



※この冊子は環境にやさしい植物油インキを使用しています。

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。